

### 出会い・ふれあい・学び合い

教育長 小沢 貞義



桜咲く四月、入学や進学にと新たな環境に胸躍らせる子どもたち、どの子どもが健康で大きく成長できる一年であってほしいと願っています。

昨年九月、県内の大学や企業、行政関係者らによる人材育成に係わる円卓会議の中間まとめが示されました。その中では、少子高齢化、人口減少社会の到来を迎え、子どもたちの基礎学力や創造力、チャレンジ精神やコミュニケーション力、徳育や人

間力などの育成やそのための学びの場づくりの必要性等が指摘されました。

当町では昨年十月、同様の趣旨で地域の皆さま方多数の御参加をいただき「共に考えよう未来の下諏訪教育」と題して教育の視点から、これからの「まちづくり、人づくり」について考え合いました。当日は、提供された資料を含めて多くの示唆を得ることができました。

「古くから引き継がれる地域の伝統文化を後世にどう伝えていくか、また諸活動を通して子どもや地域に何を期待し、何を

育んでいくか」・昨年、ある地区の地域活動に参加した中学生の声を紹介します。

・地区の皆さん方と協力して作業をすることは楽しいと感じた。半面、仕事を任せられるということは自分にも責任が生ずるのことで、そんなことを感じながら作業に取り組んだ。  
・これだけたくさんの方の仕事を大人だけでやるのはとても大変だろうなと思った。  
・少しでも地域の方の助けになると思うと頑張れた。

いずれも学校教育の中だけでは経験できない、地域の中だからこそ学び得る心の育ちがあったように思われます。  
また、人間力（生きる力）の育成を全国学力・学習状況調査の結果から見てもみましょう。

・人の役に立つ人間になりたいと思うか。  
・地域や社会をよくするために何をすべきかを考えたことがあるか。  
・地域や社会で起こっているできごとに関心があるか。

等の設問に対して肯定的な回答をしている子が当町では全国に比べてかなり高い数値であることがわかりました。地域への熱い思いが伝わってきます。基礎学力や人間力も地域での多様な経験が関係していることがわかりました。

「子どもは町の宝」将来、地域を担うたくましくやさしい人材の育成を町民みんなで進めていけたらと思います。



■諏訪湖博物館の4月の休館日は、6・13・20・27・30日です。

### 4月、新たな気持ちで

#### 中学生に向けて



社東町 大野 梨々花

私は、中学生になったらがんばりたいことが三つあります。一つ目は、勉強です。中学生になると、新しく英語の授業が入ります。英語は小学校では、週に一回ほどしかやっていません。だから、一生けん命勉強をしたいと思っています。また、定期的にあるテストでは、良い点を探れるように授業の予習や復習をして努力していきたいです。

二つ目は、部活です。朝や放課後には部活があり、つらく大変そうです。けれど、大会などで練習の成果を出せるように、あきらめずに続けたいと思います。そして、良い結果を出して達成感を得られるように、同じ部活の人と協力したいと思っています。  
三つ目は、中学生になると小学生よりも少し大人に近づきます。だから、小学生のお手本になるように「あいさつ」や「身支度」などをしっかりしたいと思います。

この三つのことを、中学生になったらがんばりたいと思います。中学生になると、小学生とは違うことがたくさんあります。大変な時やつらいことがたくさんあるかもしれないけれど、休まずに通いたいと思います。



#### 中学校の決意



西弥生町 滝 唯我

ぼくは、中学校に入学しての決意があります。一つ目は、勉強をがんばることです。勉強は、みんながやるからするのではなく、自分のためにやるということをやりました。勉強がいやになる時があります。でも、がんばることで結果につながるものがわかりました。小学校生活より短い中学校生活の中で一つでも多くのことを学び、目標をもってがんばりたいです。

二つ目は、部活動です。ぼくはまだ何をやるか決めていませんが、やるからには三年間一生けん命がんばって「やってよかった」と思える活躍ができるように、いっぱい練習し努力したいと思います。

勉強と部活動両方がんばることは難しいことかもしれませんが、でも一生けん命がんばることで自分も成長できて、楽しく学校生活を送れることができればいいなと中学校生活に期待しています。小学校生活で学んだ「やればできる」という結果につながるということを忘れずに、一日一日を大切に中学校生活を送りたいと思います。



■下諏訪総合文化センターの4月の休館日は、7・14・21・28・30日です。